

鋼材の小口混載便を手掛けるメタル便は、配送車両を増やし、納期短縮や長尺品扱いエリアの拡大など地方配送網を拡充している。静岡県中東部への配送を毎日にしたほか、中部東海圏から関東圏へは、荷受け後、翌々日には確実に配送できるよう納期を短縮した。(橋川 渉)

メタル便は、鋼材や加工品を積み合わせ効率的に配送する小口混載便。2000年に総合トラック(本社・千葉県浦安市、社長・梶大吉氏)が関東エリアで始め、翌01年に大栄(本社・大阪市此花区、社長・吉田昌弘氏)が提携し、メタル便関西として開始した。以降、順次各地で提携する運送業者を増やし、現在は、北海道から九州までの9社10拠点が連携し、小口

### 鋼材小口配送の「メタル便」

# 地方配送網を拡充

2019年メタル便中部東海圏・新ルート図



2019年メタル便西日本・新ルート図



# 長尺品の扱いエリア拡大

## 配送車両増やし納期短縮

の鋼材を配送している。で、メタル便へのオーダー受け、配送を自社トラックあり、オーダー件数も1鋼材配送の運転手不足1数は着実に増加。またクからメタル便に切り替万6千件と前年同月比でや鋼材手当ての小口化 最近では、物流量の減少をえるケースも増え、16%増加した。メタル便関西では、この背景にあるのは、

今年4〜9月 数年前から始まった大手 静岡県全域が毎日配送にの利用顧客数 運送会社の長尺・重量物 が、1055 配送からの撤退だ。ネット ③アルプス運輸建設社と前年同期 ト通販の普及に伴う物流 (長野県松本市)と提携に比べ、11・ 量の増大で、大手運送会し長野県、山梨県への長6%増加。10 社は、物流拠点の自動化 尺貨物(6尺まで)の毎月単月では新 を推進。この自動化の枠 日配送を開始。規模客が26社 に収まらない長尺・重量 ④富山県、石川県、福物の配送を順次取りやめ 井県の長尺貨物(同)の ⑤愛媛県西部、高知県手て唯一長尺貨物を配送 ⑥山陰エリア(鳥取県、荷主の反発で、主要都市 島根県)の長尺貨物(同)の配送を開始。の配送は継続することに なったが、撤退する方向 ⑦九州エリアの物量増性は変わらない。そこで 加に対応し、熊本市にハメタル便は、長尺・重量 ⑧九州の ⑨九州の ⑩九州の ⑪九州の ⑫九州の ⑬九州の ⑭九州の ⑮九州の ⑯九州の ⑰九州の ⑱九州の ⑲九州の ⑳九州の ㉑九州の ㉒九州の ㉓九州の ㉔九州の ㉕九州の ㉖九州の ㉗九州の ㉘九州の ㉙九州の ㉚九州の ㉛九州の ㉜九州の ㉝九州の ㉞九州の ㉟九州の ㊱九州の ㊲九州の ㊳九州の ㊴九州の ㊵九州の ㊶九州の ㊷九州の ㊸九州の ㊹九州の ㊺九州の ㊻九州の ㊼九州の ㊽九州の ㊾九州の ㊿九州の

また8月にはホームページ(www.metalbin.ne.jp)をリニューアル。集荷・配達希望や配送品目を入力するだけで、運賃や配達日が簡単に検索できるようになった。

①中部東海圏発、関東 ②静岡県中東部の配送を隔日から毎日へ増便した。